

研究に関するご協力のお願い

福島県立医科大学法医学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における検査後の残余血液の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2025年 12月

福島県立医科大学医学部法医学講座 武田紗希

■ 研究課題名

アシクロビル誘発性精神神経症状を発現した患者がもつアルデヒドオキシダーゼの遺伝的多型の解析

■ 研究期間

2025年12月～2027年3月

■ 研究の目的・意義

帯状疱疹は50代から発症率が高まるとされ、その治療には抗ウイルス薬のアシクロビルが用いられます。しかし、アシクロビルは重篤な副作用としてアシクロビル脳症と呼ばれる精神神経症状を引き起こすことがあります。そのリスク因子は腎障害や高齢者であることが知られています。感染症の発症と薬剤性副作用のリスク因子（加齢）が共通していることは治療上の障壁となっており、アシクロビルの安全使用の確立は喫緊の課題です。

当講座では、アシクロビル脳症の発現機序の解明に取組んでおり、これまでの研究から、アルデヒドオキシダーゼがアシクロビルの代謝に関与することが示唆されています。そこで本研究では、アシクロビル脳症を発現した方が保有するアルデヒドオキシダーゼの遺伝的多型を解析し、その変異がアシクロビル脳症の発現を規定する要因であるかを明らかにすることを目的とします。

■ 研究対象となる方

2019年10月～2025年1月の間にアシクロビル脳症を発現され、福島県立医科大学附属病院で治療された方のうち、検査後の残余血液が残っている3名の方が対象です。

■ 研究の方法

対象となる方が保有するアルデヒドオキシダーゼの遺伝的多型を解析します。この遺伝的多型が、アシクロビル脳症を発現した方で共通しているかどうかを調査します。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2026年1月1日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学法医学講座であり、研究責任者は法医学講座 武田紗希です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学法医学講座で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

他機関などへの試料・情報の提供はありません。

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理人の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部法医学講座 担当：武田紗希

電話：024-547-1185 FAX：024-549-3874

e-mail：takeda-s@fmu.ac.jp